



■例会を前に毎日天気予報とにらめっこ。どうやら午前中は整備ができそうだと前日に関係者へ連絡をする。曇り空の下、倶楽部会員38名 地元、子ども会19名の57名が集まって、尾長天満宮鎮守の杜の整備が始まった。私が担当して4年目を迎えますが、整備した場所と手を入れていない場所が入れ替わりながら来る度に表情を変える、まさに森は生きていると感じます。

結論から言うと、降雨により午前中しか作業できませんでした。密度の濃い時間となりました。作業班はA～Eの5班編成。

■Aグループは本殿裏山エリアの整備。このエリアは将来の梅林計画の為、梅の苗木が植えられており影響を与えないように作業が進められた。チェーンソーでヒサカキ、サカキを高切りして後に活用できるように整備実施。計画していた大き目の針葉樹の伐木は天候を鑑み見送った。

■Bグループは参道の本段補修担

当。恵木さんが初めてのリーダーを任せ、見勢井顧問に指導を受けながら上下2ルートと上部へのルートの木段の補修実施。イノシシの活発な活動で、前回補修した場所も掘り返されており、修復箇所が非常に多く、達成度は80%となった。

■Cグループは山道付近の枯木、支障木の伐木を担当。対象となる木が思いのほか多くあり、優先順位を決めて作業を行っていた。今まで手付かずだった場所にも入っており、足元を含め作業環境が悪く、安全に進めていたのが印象的でした。

■Dグループは北側の竹藪整備担当。これまで回数を重ねて整備した結果、竹藪状態からは脱しており、自生した笹の除伐が主となった。こちら準備していた刈払機が活躍して、円滑の作業が進んでいた。

■Eグループは子ども会と地元の方へ森林整備の学習と指導実施。

常連の方々には自主的にブロック塀の隙間から顔を出したアカメガシワや駐車場の雑木の除伐。子どもたちの指導を山本理事長から事前にレクチャーを受けた坂田さんと広瀬さん、指導しながらもやさしい笑顔で子ども達のノコギリ作業を見守っておられました。



■森林の中では気づかなかったが、雨がポツリポツリと降り始めたころに午前中の作業終了。昼食はみんな大好きカレーライスとおいごり。デザートに甘いお菓子をいただく頃には雨も本降りになり、午後の作業は中止となりました。せわしい中、安全に作業を終えた事と大人も子どもも穏やかだったことが何よりでした。恵みの雨に感謝！

1班 班長 吉村隆文